



この号の内容

1. 五木田委員あいさつ
2. 教育振興基本計画策定
3. 放射線量測定結果
4. 高橋委員再任
5. 防災教育チャレンジプラン(睦岡小)
6. サンパチエンス栽培でラジオ生中継(松尾小)
7. 成東・東金食虫植物群落の紹介
8. さんむロードレース大会参加者募集!

教育委員会は、教育振興基本計画策定のなかで、基本目標の一つを「幼少期重視の人づくり」としました。子どもの教育には時期があり、子どもが必要としている時に必要な教育・しつけをすることが大切です。

幼少期の教育の基本は、まずはあいさつです。食卓では「いただきます！」「ごちそうさまでした！」—これは幼い時からの親のしつけです。あいさつは学校でも教えますが、基本的な生活習慣は家庭の大切なしつけです。そこから品格や育ちが生まれ、子どもは大人から学びます。大人は子どもの鏡なのです。

子どもたちの朝の登校時間には、「おはよう！」「おはようございます！」と、明るく元気な声が聞こえてきます。あいさつには表情があり、声にも表情が出ます。明るく元気に、時と場に応じたあいさつが自分からできるといいですね。

感謝の言葉も大切です。人間は一人で生きていきません。今、自分が生きていることは、たくさんの人たちの支えがあるからこそです。うまく言えない時もありますが、気持ちが伝わる「ありがとう」を言えるよう常に心掛けたいものです。

毎日、寝るときに何人にもあいさつできただか思い出してみよう。意外と少ないことに気づくと思います。「あいさつは心の潤滑油」という標語があります。家庭から学校へ、そして地域へとあいさつの輪が広がってほしいですね。

あいさつは人と人との潤滑油
委員長職務代理人 五木田 孝義

キャッチフレーズは なえはんさく 「苗半作の教育」

教育振興基本計画を策定

教育委員会では、平成23年度を初年度とする教育振興基本計画を策定しました。計画の期間は平成32年度までの10年間です。この計画は、教育基本法第17条第2項(地方公共団体は、教育振興のための施策に関する

基本的な計画を定めるよう努めなければならない)を受けて、教育委員会所管に係る分野について策定したものです。山武市総合計画との整合性を図り、その個別プランとして位置付けています。

1 教育理念

ひと
学びの感動と、他人を思いやる心を育み
未来をたくましく切り拓く自立した人づくり

2 基本目標

(1) 幼少期重視の人づくり (苗半作の教育)

「苗半作」とは農業の喩で、「良い苗を育てる過程が最も重要で、苗の出来・不出来により、作柄の半分は決まる」という意味です。これは幼少期の教育も同様のことが言えます。教育委員会は、この幼少期からの教育を重視し、生きる力の基礎づくりと捉え、子どもたちの将来をより実り多いものにしていきます。

(2) 自立を促し、未来を切り拓ける人づくり

すべての子どもが社会で自立して生きていけるよう、義務教育終了までに知・徳・体の調和のとれた人間性を養い、夢を持ち生きる力を発揮して未来をたくましく切り拓く市民を育成します。

(3) 地域を支える人づくり

教育委員会は、「地域づくりは人づくり」と認識します。住み慣れた地域で自主的に社会に参加し、人との絆を大切に、互いに支え合うことで、家庭・学校・地域に誇りを抱く教育を推進します。



3 教育理念を推進する4つの政策

(1) 幼少期からの教育を重視する

- ① 苗半作の教育
 - 幼少期における脳科学、精神医学の研修と普及
 - こども園化の促進による保育充実
 - (仮称)こども課の設置の検討
- ② 子育てに関する学習機会の提供
 - 親や家庭の在り方について学ぶ講座の充実

(2) 社会の要請に応えられる人材を育成する

- ① 個と公をわきまえたたくましい人づくり
 - 読書活動の推進
 - キャリア教育
 - 規範意識を養い豊かな心と健やかな体の育成
 - 特別なニーズに対応した教育の推進
 - 教育委員会機能の強化
- ② 学力と学ぶ意欲の向上に必要な支援の充実
 - 確かな学力の習得
 - 海外派遣研修事業、国際交流事業
 - 奨学金貸付制度の導入

(3) 地域全体で教育の向上に取り組む

- ① 家庭・学校・地域の連携・協力を強化し、地域社会全体の教育力を高める
 - 教育情報の発信と課題共有
 - 学校を核とした地域コミュニティの構築
 - 市民協働・社会総がかり教育の推進
- ② いつでもどこでも学べる環境を創る
 - 市民、地域の教育力向上

(4) 安全安心の確保と質の高い教育環境を整備する

- ① 市内校の格差是正
 - 均衡ある施設整備、教員研修の充実と指導力向上
 - 統廃合や学区再編の検討協議
 - 小中一貫教育の検討と研究
 - 学校図書室の整備
- ② 学校を元気づける指導室の機能充実
 - 学校(幼稚園)の支援
 - 実効的な指導業務の推進
 - 情報発信の支援



**校庭・プールともに
基準値以下
放射線量測定**

市では、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、5月～7月に各月1回、簡易測定器を用いて大気中の放射線量を測定しました。

測定は市内幼・小・中の園庭・校庭など、合計37箇所で行いました。測定結果はいずれも平成23年4月19日に文部科学省から発表された、福島県内の学校の校舎・校庭等の利用判断における暫定的考え方についての目安(3.8マイクロシーベルト/時)を下回っています。

このため、市教委では、園児・児童・生徒が生活する校舎・校庭等を平常通り利用しても差し支えないと判断します。

また、小・中学校のプール水についても、先月と今月、検査機関による放射線量測定を行いました。

その結果、すべての学校プールにおいて放射線量は検出されず、プールを使用しても健康に影響がないことを確認しています。

地域ぐるみで防災力アップ!

防災教育チャレンジプラン 睦岡小学校



6月9日(木)に行われた引き渡し訓練。「気をつけて帰ってね!」

睦岡小学校は、千葉県教育委員会より平成23年度「地域との連携を深める防災教育公開事業」の指定を受けました。児童・保護者はもちろん、地域住民の災害に備える意識を高め、災害時に的確な行動がとれるような判断力や実践力を身につけることがねらいです。

年間を通して講演会や訓練などの防災教育事業を公開で行っており、8月には、睦岡地域の合同防災訓練を実施します。地域が一体となった防災訓練を通し、児童・保護者・地域住民が、地域でよりよいネットワークを作り、災害時に助け合えるようなつながりをもちたいと考えています。

睦岡地域の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

日時	平成23年8月27日(土) 9時~12時(雨天決行)
場所	睦岡小学校グラウンド、体育館、多目的室
参加者	睦岡小学校児童、職員、保護者、地域住民
問合せ	睦岡小学校 ☎0475-89-1004

高橋尚子氏 教育委員に再任

平成23年6月26日付けで、高橋尚子氏(富口)が教育委員に再任されました。任期は平成27年6月25日までの4年間です。3男1女の母である高橋委員は、保護者ならではの視点で教育委員会運営に携わります。今後も教育行政での活躍が期待されます。



高橋尚子氏(富口)

サンパチェンスをありがとう! 大切に育てています!

松尾小学校 栽培の取組をラジオ生中継

4月下旬に、(株)ナミカワ不動産から市内全小学校に合計1,090鉢のサンパチェンスの苗が贈られました。昨年度に引き続き2度目の寄贈で、各小学校で大切に育てられています。6月2日(木)には、松尾小学校での栽培の様子がbayfm78の番組内で紹介されました。

生中継という緊張感で、スタンバイ中は児童も先生方もガチガチでしたが、いざ本番が始まると児童2人は「よろしくお願いします!」のあいさつから元気いっぱい!笑顔でテキパキと受け答えしていました。

取材の終わりにこの取組のねらいを質問された鈴木校長は「栽培を通じて、自然や花を観察し、成長や変化に気づき感動したり、自然や環境を生活に活かしたりする気持ちを大切にしたい」と結びました。

周囲の温度を効率よく下げ、打ち水効果があるというサンパチェンス。節電必須のこの夏、活躍しそうですね。



花が咲いている鉢もあれば、まだつぼみの鉢も。色とりどりの花が咲くのが楽しみ!



「2人1組で1鉢を育てています」と取材に応える6年生の高野健太さん(右)と土屋沙織さん(中央)と学年主任の福島先生(左)。

コモウセンゴケ、ミミカキグサ: たくさんの貴重な植物が生育

日本で初めての天然記念物!

「成東・東金食虫植物群落」は、山武市(旧成東町)島地区と東金市上武射田地区にまたがる3.2ヘクタールの湿原で、大正9年に「成東町肉食植物産地」という名称(※昭和53年に現在のものに変更)で、全国で最初に指定された天然記念物です。



校外学習にも多く利用されています。

ガイドブックを11年ぶりに改訂

「成東・東金食虫植物群落ガイド」を鮮やかな新しい写真に差し替え、今年3月に発行しました。頒布額は500円です。(歴史民俗資料館にて頒布) 見学の際にお役立てください。



出前講座に新メニュー

今年度の「さんむまちづくり出前講座」に「成東・東金食虫植物群落ってなに?」というメニューを追加しました。生涯学習課職員や「群落を守る会」のスタッフが、学校や希望の施設に向きます。講座時間は約50分。ガイドブックをもとにお話しします。

夏の食虫植物を観察しませんか?

「成東・東金食虫植物群落を守る会」主催で夏の観察会を行います。参加費は無料です。

日時 8月7日(日) 10時~11時30分

問合せ

生涯学習課 ☎0475-80-1451
群落管理棟 ☎0475-824871

市内在住・在学の さんむ S A M M U ROAD RACE ロードレース大会



ゲストラナー エリック・ワイナイナさん

震災復興支援チャリティー大会

参加費の一部(1人あたり100円)を被災地の復興支援に充てさせていただきます。

期日	平成23年11月27日(日)
場所	蓮沼海浜公園(九十九里蓮沼ビーチパーク)
申込方法	市内小中学生は学校経由でお申し込みいただけます。上記以外の方は、参加申込書(各窓口で配布)に必要事項を記入の上、参加費を添えて下記まで提出ください。WEBエントリーもできます。
申込締切	平成23年10月14日(金)
問合せ	さんむロードレース大会事務局 ☎0475-80-1461(スポーツ振興課)

年齢層・距離別に20種目を設定しました。多くの皆様に参加できる大会です。参加お待ちしております!



携帯電話から簡単エントリー!